

安全上のご注意

このホットカーペットは、床に敷いて直接暖をとるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対にしないでください。この用途以外（観賞魚・植物・ペット用など）及び一般家庭用以外（業務用など）でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

絵表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『危険』『警告』『注意』の3つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 危険** 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示します。
- 警告** 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
- 注意** 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

※記号の中の絵が具体的内容になります。

- 禁止 してはいけない『禁止』内容です。
- 必ず実行していただく『強制』内容です。

注意

- 使用中以外または、何か異常があった場合、すみやかに差込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - 事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。
- ぬれた手で差込みプラグ、コントローラー、接続コネクターなどを絶対にさわらないでください。また、水やお茶等の液体をこぼさないでください。
 - 万一濡らしたときは、過熱や事故のおそれがありますのでただちにご使用を中止し、販売店で点検を依頼してください。

- 差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
 - 感電やショートして発火することがあります。
- 座布団、クッション、布団、座イスなど保温性があるものを長時間同じ場所にのせないでください。
 - 過熱して本体を傷め、床面や畳・置いたものなどが変色や変形するおそれがあり、故障や事故の原因になります。
- アイロン台として使用したり、他の加熱物を置かないでください。
 - 熱で本体（発熱体）を傷め、発火することがあります。

危険

- 乳幼児やご自分で温度調節（又は操作）のできない方は付添いなしでは使用しないでください。
 - 低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。
- 就寝用暖房器具として使用しないでください。
 - 低温やけどのおそれがあります。
- カバーなしで使用しないでください。
 - 低温やけどのおそれがあります。
- 低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。時々体を動かすなど注意して使用してください。
 - 比較的低い温度（40～60℃）でも、長時間皮膚の同じところに触れていると、赤い斑点や水ぶくれができる低温やけどの原因になります。
 - 次のような方は特にご注意ください!!
お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方や深酒・疲労の激しい方。
- 次のような方は、医師と充分ご相談の上お使いください。
 - 心臓病、糖尿病などで、ホットカーペットを使用することが健康上好ましくない方。
 - 皮膚が弱いなど暖房に注意が必要な方。

警告

- 製品に異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
 - 発火したり異常動作してけがをすることがあります。
- 絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
 - ケガや発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
 - 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- コンセントの差込みプラグがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分を付着させないでください。
 - 感電やショート・発火の原因になります。
- 一般家庭用の交流100V以外では使用しないでください。
 - 火災・感電の原因になります。
- 差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
 - 発煙・発火のおそれがあります。

- 針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけないでください。
 - 本体を傷め、故障や感電の原因となります。
- ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。
 - 発熱体やコードを傷め、過熱することがあります。
- 高温になる器具を本体の上や近くに置いて使用しないでください。
 - 熱で本体を傷め、故障や事故の原因になります。
- 犬や猫などのペットの暖房用には絶対に使用しないでください。
 - ペットが本体やコードを傷めたり、尿が電気部品に侵入する等して、発煙、火災の原因となることがあります。
- 巻いたままや、折りたたんだまま、また凹凸や段差のあるところでは使用しない。
 - 発熱体を傷め、火災・感電の原因。
- スプレー缶などをホットカーペット本体の近くに置かないでください。
 - 爆発や火災の原因となります。
- コントローラーやコネクターを踏みつけたり強い衝撃を与えないでください。
 - 故障や事故の原因となります。
- ベンジン、シンナー、灯油などの揮発性のものを上にのせないでください。
 - 火災の原因となります。
- リモコンやパソコンなどの電子機器を上へのせないでください。
 - 電子機器の故障の原因となります。

使い方

ご使用になる前に

- ご使用開始直後、しばらくは、プラスチック、ゴム、塗料等の臭いが気になる場合があります。ご使用するにつれて臭いは少なくなります。気になる場合は、換気をしてください。
- 一般のカーペットやカバーをかけてご使用になりますと、適温が得られないことがあります。
- 平らな床面に広げて敷いてください。
 - 巻いたり、折りたたんだままで使用しますと、過熱により故障の原因となります。
 - 水のかかりやすい場所、熱に弱い床材や敷物の上、玄関口など土足の場所では絶対に使用しないでください。
- 家具などを置くときは
 - テーブルや応接セットを置くときは、必ずあて板（10cm角以上）や脚ゴムをお使いください。
 - 椅子やピアノなど重いもの、底面の広いタンスなどは置かないでください。故障の原因になります。

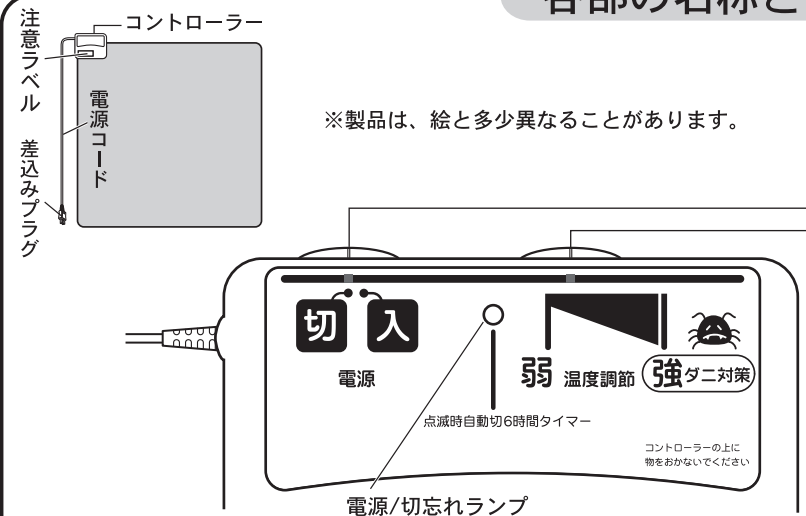


- 低温やけどを起こすことがありますので、できるだけ温度調節を低めに合わせてください。
- 一般のカーペットの上で使用される場合
 - お手持ちのタオルや毛布などを下に敷いてお使用になると、一般のカーペットのバイル（毛足）の屈伸作用によって、カーペット本体がズレたり、盛り上がるのを軽減します。



コントローラーや本体に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。もしこぼした場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店で点検を受けてからご使用ください。●事故や故障の原因になります。

各部の名称とご使用の順序



『電源スイッチ』を入れると自動的に『切忘れタイマー』がスタートします。6時間経過すると、タイマーが働いて通電が止まり、『電源/切忘れランプ』が点滅してお知らせします。通電が止まった後も続けてご使用になるときは、1度『電源スイッチ』を切ってから再度『電源スイッチ』を入れ直してください。さらに6時間ご使用いただけます。

知っておいたたきたいこと

電気カーペット用カバーをご用意ください。

- カーペット本体単体販売の場合は、カバーが付属していません。お客様にて販の電気カーペット用カバーをご用意ください。

- カバーを外して使用しない。カバーなしで使用しない。
 - 低温やけどや熱中症の原因。

- ご購入直後や毎年使いはじめには温度が低く感じる場合があります。これは保管中にホットカーペット本体が湿気を含んだり、本体内の温度感知部材が湿気を含むためにおこる現象で故障ではありません。
- 折りぐせは、ご使用にともない自然になくなります。
- 畳やカーペット・熱に弱い敷物や床材・フローリングなど、その他染色された物の上でホットカーペットをご使用になりますと、変色することがありますのでご注意ください。
- 湿度が高い場合や本体が吸湿している場合は、フローリング等の床面に結露することがあります。

上手にお使いいただくために

- 木やビーターなど熱をとられやすい床面でご使用になる場合は、ホットカーペット本体の下に毛足のないカーペットを敷くと、床面に熱が逃げにくくなります。
- カーペットカバーを敷いた上に直接おすわりください。座布団やクッションを使いますと、温もりが感じられなくなるだけでなく、ホットカーペット本体が過熱して変色、故障や事故の原因になります。
- ひざかけをご使用いただけますとより暖かくなります。
- 時々ホットカーペットを動かして床面を掃除し、変色や結露が起こっていないか確認しましょう。

コタツと同時に使用するとき

- コタツはホットカーペットの中央に置いて、部分的にホットカーペットの温度が上がらないようにしてください。
- コタツとホットカーペットなどの定格消費電力の合計が1000W（10A）以上になることがありますので、ご使用前に安全器（ブレーカー）やコンセントの定格をよくお調べください。
- コタツの温度調節は「中」～「弱」に合わせてお使いください。「強」に近い目盛にしますとホットカーペットの温度調節器が働いてホットカーペットの温度が低くなる場合があります。

